

大阪府立図書館 第五期活動評価（令和5-7年度） 重点事業シート（案）

（1）すべての府民が図書館サービスを楽しむことができる環境の整備 ～図書館利用に配慮が必要な府民への読書活動支援～

目標：すべての府民が読書活動を通じて文字・活字文化の恵沢を享受できることをめざして、「大阪府視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画（読書バリアフリー計画）」に沿った施策に重点的に取り組みます。 （関連する基本方針：基本方針1・2・3・5）

| 具体的内容 | 自己評価（成果と課題） | | | | | | | | | | | |
|--|---|-------|-------|--|--|-------|-------|-------|-----------|--|--|--|
| <p>1 活字による読書や来館が困難な利用者、日本語を母語としない利用者への多様なサービス提供</p> <p>（i）アクセシブルな書籍等の充実に向けて、デイジー図書、テキストデータの作成、および、国立国会図書館へのデータ提供に引き続き取り組みます。また、アクセシブルな書籍等を周知するための取組等を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NDL 視覚障害者等用データ送信サービスへのデータ提供（継続） ●指標：毎年 40 件以上 <p>（ii）日本語を母語としない、読書や図書館の利用に困難を伴う利用者に向けてサービスを行う上で、市町村立図書館が府立図書館に対しどのような支援を必要としているかを把握するため、初年度（令和5年度）にアンケート調査を行います。</p> <p>なお、一層のバリアフリーを進めるため広報等を見直します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート項目の精査（R5 上半期） アンケート調査実施、結果に基づく事業立案（R5 年度内） 事業選定、実施準備（R6～） 事業試行（R6～ 準備が整ったものから順次実施） | <p>（i）</p> <p>●実績</p> <table border="1" data-bbox="1162 732 1993 833"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>データ提供数(件)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>（ii）</p> | | | | | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | データ提供数(件) | | | |
| | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | | | | | | | | | |
| データ提供数(件) | | | | | | | | | | | | |

2 障がいのある子どもへの支援
 障がいのある子どものおはなし会やイベントを実施し、障がいのある子どもたちに資料を届けるとともに、障がいのある子ども向けの貸出用図書セットを毎年1セット作成します。また、支援学校の教員や学校司書に向けて読書活動支援の講座や情報提供等を行います。大阪府立図書館職員向けの手話研修を継続し、引き続き人材の育成を行います。

・貸出用図書セット及び支援学校の教員や学校司書向け講座等の広報
 ●指標：毎年5回

●実績

| | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|--------------------|-------|-------|-------|
| 貸出用図書セットや講座等の広報(回) | | | |

3 市町村立図書館向けの研修実施、情報提供
 府域図書館職員等を対象とした研修を実施します。また、項番1、2の事業内容について、当該の研修時や情報交換会等で報告し、府域図書館全体に関連情報を周知します。

・研修・情報交換会等における、項番1、2の周知回数
 ●指標：毎年5回

●実績

| | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|--------------------|-------|-------|-------|
| 研修・情報交換会等における周知(回) | | | |

総括

(2) 府立図書館蔵書の利活用の拡充 ～非来館型利用の促進～

目標：デジタル化した古典籍資料や、国際児童文学館資料等の利活用の推進と、府立図書館資料へアクセスできる機会の拡充に取り組みます。

(関連する基本方針：基本方針 1・2・3・4)

| 具体的内容 | 自己評価（成果と課題） | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---------|---------|---------|---------|--------------------|--|--|--|-----------------|--|--|--|--------------|--|--|--|
| <p>1 デジタルコンテンツの拡充</p> <p>古典籍資料のデジタル化画像の追加や、行政資料等のデジタル資料の収集を継続するとともに、国際児童文学館所蔵雑誌の目次データの追加により、所蔵情報の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 古典籍資料のデジタル化 <ul style="list-style-type: none"> ●指標：毎年 4,000 画像 ・ 行政資料等のデジタル資料の収集 <ul style="list-style-type: none"> ●指標：毎年 100 件 ・ 国際児童文学館所蔵雑誌の目次データ追加件数 <ul style="list-style-type: none"> ●指標：毎年 100 件（1 件=1 号分） | <p>●実績</p> <table border="1" data-bbox="1106 592 2011 788"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和 5 年度</th> <th>令和 6 年度</th> <th>令和 7 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>古典籍資料のデジタル化(件)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>デジタル資料の収集(件)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目次データ追加件数(件)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 | 令和 7 年度 | 古典籍資料のデジタル化(件) | | | | デジタル資料の収集(件) | | | | 目次データ追加件数(件) | | | |
| | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 | 令和 7 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| 古典籍資料のデジタル化(件) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| デジタル資料の収集(件) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目次データ追加件数(件) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>2 デジタルコンテンツの認知度の向上</p> <p>当館のデジタルコンテンツについて、他機関データベースとの連携や、SNS・ホームページでの情報発信による認知度の向上に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍データベース」へのデータ提供 <ul style="list-style-type: none"> ●指標：3 年間で 14,000 点 ・ デジタルコンテンツを、ツイッター等の SNS やホームページにて紹介 <ul style="list-style-type: none"> ●指標：年 30 回 | <p>●実績</p> <table border="1" data-bbox="1106 1171 2096 1367"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和 5 年度</th> <th>令和 6 年度</th> <th>令和 7 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国文学研究資料館へのデータ提供(件)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>デジタルコンテンツの紹介(回)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 | 令和 7 年度 | 国文学研究資料館へのデータ提供(件) | | | | デジタルコンテンツの紹介(回) | | | | | | | |
| | 令和 5 年度 | 令和 6 年度 | 令和 7 年度 | | | | | | | | | | | | | | |
| 国文学研究資料館へのデータ提供(件) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| デジタルコンテンツの紹介(回) | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|--|--|
| <p>3 資料および情報への多様なアクセス手段の確保と利便性の向上 オンラインによる利用者登録の実現等、来館せずに、より幅広い図書館サービスが利用できる環境整備を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none">・オンライン利用者登録のシステムおよび運用マニュアルの整備(R5~6)オンライン利用者登録開始(R6~7)オンライン利用者登録の利用状況把握 (R7) | |
| <p>総括</p> | |
| | |